アオバトのふしぎ

2019年度 特別展

～森のハト、海へ行く～

2019 7/20(土) → 11/10(日)

アオバトは若草色の羽が美しいハトです。神奈川県内では丹沢山地などの標高の高い森で子育てをしますが、春から秋にかけて、毎日のように数羽から数10羽、時として500羽以上もの群れで大磯町の海岸に舞い降りて、海水を飲む姿が観察されています。

1箇所でこれだけ沢山のアオバトが観察されることは全国的に珍しく、繁殖期の生息場所として重要であることから、1996年に「大磯照ヶ崎のアオバト集団飛来地」として県の天然記念物に指定されました。

今回は、地元で30年以上も観察を続けている「こまたん」とともに、アオバトの一風変わったくらしぶりを紹介します。

こまたんとは？？
野鳥を中心に、花や昆虫などを愛でる平塚市・大磯町をフィールドに持つバードウォッチングのグループです。

展示内容

写真：こまたん

アオバトとは？

なぜ海水を飲むの？

アオバトの夏のくらしと冬のくらし

アオバトリビア

まだまだあるぞ！生き物のふしぎ

イラスト：薮内正幸

アオバト観察の手引き

アオバト写真館

関連イベント

※申込方法などの詳細は、当館ウェブサイトをご覧ください。

エントランス展示

「恐竜から鳥へ」

期　間●7月10日(水)～11月10日(日)
内　容●恐竜から鳥への進化をパネルや標本などで紹介します。
場　所●当館1階エントランスホール

ワークショップ　当日受付

紙芝居「アオバトたちの大冒険」

開催日●7月27日(土)・8月10日(土)・24日(土)
時　間●各11:00～ ※30分程度
内　容●アオバトの生態を紙芝居で紹介します。
場　所●特別展示室
対　象●幼児・小学生

海辺の野鳥観察会　事前申込制　荒天中止

日　時●8月3日(土) 8:00～10:00
講　師●加藤ゆき(当館学芸員)
場　所●大磯町照ヶ崎海岸
対　象●小学生・中学生とその保護者　20人
協　力●こまたん

日　時●9月7日(土) 8:00～10:00
講　師●加藤ゆき(当館学芸員)
場　所●大磯町照ヶ崎海岸
対　象●小学生・中学生とその保護者　20人
協　力●こまたん

日　時●10月5日(土) 8:00～10:00
講　師●加藤ゆき(当館学芸員)
場　所●大磯町照ヶ崎海岸
対　象●小学生・中学生とその保護者　20人
協　力●こまたん

講演会　当日受付　定員：300名

「アオバトのふしぎ」

日　時●8月10日(土) 13:30～16:00
講　師●金子典芳・斎藤常實(こまたん)
場　所●当館1階 SEISAミュージアムシアター

「生き物のふしぎ」

日　時●10月19日(土) 13:30～16:20
講　師●樋口広芳(東京大学 名誉教授)
　　松林尚志(東京農業大学農学部 教授)
　　秋山幸也(相模原市立博物館 学芸員)
場　所●当館1階 SEISAミュージアムシアター

サロン・ド・小田原

「アオバトと照ヶ崎周辺の地形」

日　時●8月3日(土) 14:00～16:00
　　※受付は13:40～
内　容●展示解説・大磯の魅力
　　(アオバトと地形のコラボレーション)
講　師●加藤ゆき・石浜佐栄子(当館学芸員)
場　所●当館1階 講義室および特別展示室

開館時間●9:00～16:30(入館は16:00まで)
休館日●9月2日(月)・9日(月)・10日(火)・17日(火)・24日(火)・30日(月)・10月7日(月)・8日(火)・15日(火)・21日(月)・28日(月)・11月5日(火)

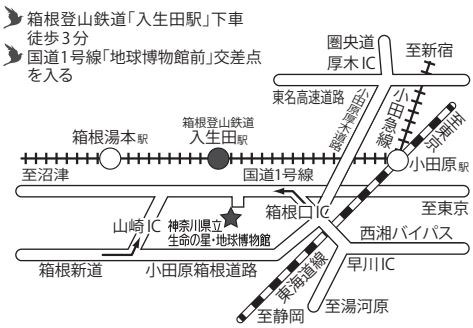
観覧料(常設展含む)	個人	団体※
20歳～64歳(学生除く)	720円	610円
20歳未満・学生	400円	300円
高校生・65歳以上	200円	
中学生以下	無料	

※有料人員20人以上

共催●こまたん
後援●(公財)神奈川県公園協会、日本野鳥の会 神奈川支部、神奈川新聞社、ｔｖｋ(テレビ神奈川)
協力●樋口広芳(東京大学／慶應義塾大学)、松林尚志(東京農業大学)、我孫子市鳥の博物館、大磯町、大磯町郷土資料館、京都国立博物館、酒田市立光丘文庫、相模原市立博物館、栃木県立博物館、神奈川県立秦野ビジターセンター、薮内正幸美術館、(公財)山階鳥類研究所

〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499
TEL: 0465-21-1515 / FAX: 0465-23-8846
http://nh.kanagawa-museum.jp/

※夏季休業期間および土曜・日曜・祝日は、周辺道路や駐車場が大変混雑します。できるだけ公共交通機関をご利用ください。



神奈川県立 生命の星・地球博物館
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History